

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1-(1)	『理念』について啓発・広報の部分での取り組みが不十分である。	『理念』について、地域や利用者家族の方々に広く理解して頂くような啓発、広報を行っていく。	パンフレットや広報紙等に、『理念』についての文書の同封や記載を行い、理解を促していく。また、運営推進会議等に於いて、必ず年度初めに『理念』について説明し、地域の方への啓発・広報を行っていく。	3ヶ月
2	33-(12)	重度化や終末期に向けた指針・方針は、仕組み的にはしっかりしたものができているが、職員の受け入れ体制や教育体制が不十分である。	利用者の方が可能な限り、継続して事業所でその人らしさを尊重した生活ができるような体制作りに努める。	重度化や終末期等に関連する施設内研修の実施、及び外部研修へ参加することで職員への意識付けを行う。又、医療機関や御家族様、看護スタッフとの連携を蜜にし、個別対応について周知を図り、受け入れ体制の構築に努める。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。